



# 地域安全ニュース

## 広報 戸じまり

No.411  
発行所  
今治地区防犯協会  
今治警察署  
☎ 34-0110  
FAX 31-7001

### キャンペーンを実施しました!!

平成22年10月11日～10月20日の全国地域安全運動期間中に「みんなでつくろう安心の街～防ごう犯罪 守ろう愛媛～」をスローガンに市内のスーパー8カ所でのキャンペーンを実施しました。



「振り込め詐欺に注意」「自転車、バイクの盗難被害防止」「空き巣に注意」など買い物客に呼びかけながら、チラシや夜道で活躍する携帯ライト、エコバッグを配布しました。



サティ今治店 (10/12) でのキャンペーンの様子



Aコープ玉川店 (10/13) でのキャンペーンの様子



～戸じまりの 最後のキギは 地域が目～



パートナーからの暴力で悩んでいませんか？



### 「ドメスティック・バイオレンス(DV)」

夫婦や内縁関係など、親しいパートナーからの暴力を「ドメスティック・バイオレンス(DV)」といいます。

たとえ、夫婦間であっても暴力は許されるものではなく、犯罪行為をも含む重大な人権侵害です。

暴力は繰り返され、エスカレートする傾向があり、子どもにも悪影響を及ぼします。

もし、被害にあっていたら勇気を出して相談しましょう。

#### 愛媛県警察本部警察総合相談室

0120-31-9110 (携帯電話不可)

089-931-9110

#9110

#### 今治警察署相談窓口

0898-34-0110

#### 配偶者からの暴力被害者支援情報サイト

<http://www.gender.go.jp/e-vaw/index.html>

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)では、暴力や脅迫を受けたDV被害者を守る「保護命令」制度があります。

#### 《保護命令の種類》

加害者に対して

- 被害者への接近を6カ月間禁止
- 被害者に面会要求や電話・メールすること等を6カ月間禁止
- 被害者の子、親族などへの接近を6カ月間禁止
- 被害者と同居している場合、その住居から2カ月間の退去を命令(違反すると、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金)



# 暴力団追放！『三ない運動』の推進

## 暴力団を「利用しない」

全てを「金づるにする」  
それが暴力団の姿勢です



- 暴力団を利用したつもりが、骨の髄までしぼられます。
- 暴力団は、タダでは動かず、法外な金を要求されます。
- 暴力団は、相手が弱い、甘いと見ると、トコトン食い付き離れません。

## 暴力団を「恐れない」

恐れは「誤ったイメージから」  
恐れることは暴力団を助長させる



- 暴力団は怖いものではありません。皆で相談し合い、団結して対応しましょう。
- 暴力団を恐れず「存在を許さない」と皆で対決姿勢をもつことです。

## 暴力団に「金を出さない」

金が「腐れ縁の元」

暴力団を支援・容認することになる



- 暴力団に金を出すことは、結果的には暴力団を認め、資金獲得の手助けをすることになります。
- 暴力団は、一度味を占めると、何回も金を要求し続けてしぼり取るのです。
- 暴力団は、自らの遊びや組の活動資金を、常にかぎ回ってるカネのための集団です。

### 暴力団による被害の防止、回復等の相談は、

暴排条例ホットライン 089-941-8930  
愛媛県暴力追放推進センター 089-932-8930  
今治警察署 0898-34-0110

暴力団が恐れているもの…  
**それはあなたの暴力団を恐れない「勇気」なのです！**

# 狩猟事故をなくそう

今年も、11月15日から狩猟が解禁となります。毎年、期間中にはハンターによる狩猟事故が起っています。正しいマナーと安全確認で事故のない狩猟に努めましょう。

※ イノシシ猟については、愛媛県全域において狩猟期間が3月15日まで延長されています。

## 《事故防止対策》

- 射撃練習
- 矢先の安全確認
- 獲物の確認
- 猟服に注意
- 脱包の励行



## こころの芽

被害少年サポーター  
柳原 丈 廣

### 『秋は親子の絆づくりの季節』

運動会から始まり、秋は親子のふれあいのできるいい季節です。親と子が時間をつくって、親子の絆を深めていきましょう。

ところで、親子のふれあいのキーワードは「一緒に」です。どこかに出掛けても、お父さんやお母さんが運転手役であったり、魚を釣ったり遊んだりしている子どもの観客や見張り役であったりしては、その思い出は時と共に消えていきます。険しい山道を疲れ果てながら歩いたり、釣り場で大波をかぶりびしょぬれになったりした「一緒に」の体験こそが、色あせない思い出として家族の心に刻まれるのではないのでしょうか。